

進路室より

ラグビーの「TRY」に学ぶ

進路室長 橋野 幸男

「ラグビー・ワールドカップ2023 フランス大会」で、日本代表チームの激闘が続いています。世界の「8強」に割って入った前回「2019 日本大会」の当時、静岡商工会議所・青年部理事だった金さん（中華料理店経営）が「静岡新聞・夕刊『窓辺』欄」に、『“TRY” “GOAL”』と題して次のように書いていたのを思い出します。

＝ 試合中いろいろな用語が使われていますが、やはり「TRY」という言葉が一番好きです。しかし、初心者ならではの疑問ですが、なぜ「ゴール」とは呼ばず「トライ」なのか? と思いました。

調べてみると、昔のルールではゴールキックの「挑戦権」が得られるだけということです。あんなに激しい戦いの末、たどり着いたゴールラインなのに、それは結果につながるまでの一つの通過すべき「ポイント」であることには驚かされます。＝

この後、ご自身について2度目の来日時の苦労や知人たちの応援を述べて、＝
 でも、これは一つの通過ポイントなのでしょう。この静岡で、日本で、私に何ができるのか、何を諦めずに取り組んでいくかがゴールです。そして私にくれたこの優しさを、これから日本で働こうとトライする異国や日本の誰かにもリレーしたいと思います。＝

なるほど、思い出しました。学生時代に「保健体育」で『スポーツ社会学』を履修しましたが、そこでラグビーの歴史、クラブ制度やルールについて知りました。現在ではトライを取ることで得点しますが、当初のルールは違いました。トライには得点がなく、また、コンバージョンキック（トライ後のゴールキック）が決まるとそこで試合終了、言わばこれがゴールだったのです。トライという言葉は、「トライをすることでコンバージョンキックを試みることができる」という意味から生まれた、ということです。

さて、この「TRY」の由来や金さんの文章から、学生の皆さんに留意してほしいことがあります。それは、「(就職) 内定がゴールではない」ということです。内定はゴールではなく、入口にすぎません。卒業後どのように働きたいのか、働きながらどんな人生を歩んでいきたいのか――。このような「キャリアプラン」を考えた上で、内定に向き合ってほしいものです。就職活動における内定は、「卒業して社会人として働いていく通過点」に過ぎません。内定という結果より、内定に至るまでと、内定から卒業、卒業して社会で働いていくプロセスにこそ着目しましょう。そして、そのプロセスでは、常に「バックキャストिंग」、つまり、「なりたい自分」に必要な能力・スキルを抽出し、現在の保有能力・スキルと比較することで、自身に足りない能力・スキルという“ギャップ”を明確にする。このギャップを埋めるキャリア形成を意識する」を行なっていってください。

第3期介護実習での学び！ 2TW・CW

令和5年6月19日(月)～7月22日(土)

実習テーマ「介護計画立案・実施・評価の理解を深める」

総合福祉学科 川端 愛大

第3期実習で学んだことが多くありました。

1つ目は、介護過程の展開の難しさです。学校の授業で、介護過程の展開を何度も練習し、実習に挑みました。いざ介護現場で実践となると、利用者様から情報収集をする際の見方・聞き方をどうすればよいか、また情報収集を終えたあとの統合化・関連づけのやり方などの難しさを感じました。ニーズが利用者様のニーズではなく、私自身が利用者様にしてほしいことになってしまい、これは情報収集の統合化・関連づけが上手くできていないためだと思いました。

2つ目はコミュニケーションと介護技術です。利用者様と話しているときに、会話が続きず困ってしまうこともありましたが、その利用者様とかかわりをもつにつれて、どのような話をするのが好きで、こちらがどのような反応をすると喜んでくれるのかなどが分かり、スムーズなコミュニケーションを図ることができました。

介護技術では、利用者様の状態に応じた安全性の高い2人介助など学校では体験することのできない介護技術を学ぶことができました。今回の学びを、第4期実習にもつなげていきたいです。

介護福祉学科 鈴木 祐成

私は、今回の実習で介護計画を進めるにあたり、担当させていただいた利用者様に勇気づけられる場面が多々ありました。

介護計画を実施していく中で利用者様が意欲的になってくれたのは様々憶測がありました。

勇気づけられた場面では、利用者様から「今日はお散歩する?」や散歩中に足を動かしながら「どう?うまい?」と聞かれ、「上手です」と私が伝えると、利用者様は笑顔になり足の運びが良くなったことです。初めての介護計画立案で不安もありましたが、利用者様の意欲的な姿勢・上手くいった時の喜びが良い刺激になり、とても勇気づけられました。

利用者様とかかわり、介護計画を実施していく中で、利用者様との信頼関係も大事だと思いました。利用者様になぜこのようなことをするのかといった動機づけ・何かに誘う時に同意を得ること・一緒にいるときは暗いトーンでの会話や表情を避け、笑顔で明るく振る舞うなどといったことが、信頼関係の構築になったと考えます。第4期実習でも、信頼関係の構築を励むとともに、今度は自分が利用者様を勇気づけられたら良いなと思います。

第1期介護実習での学び！ 1TW・CW

令和5年7月24日(月)～8月5日(土)

実習テーマ「3つの目標に対する学び」

総合福祉学科 磯部 乃愛

第1期実習では介護老人保健施設のエスコートタウン静岡にて3日間、グループホームの小芝の家で2日間の実習をさせていただきました。

第1期実習では大きく3つのことを学ぶことが出来ました。一つ目は「コミュニケーション」です。反応によって利用者様が心を開いてくださったり会話を続けてくださったりするので、これからの実習でも活かしていきたいです。

2つ目は「周りを見ながら行動すること」です。またそれによって、次は何をするべきなのか考えることができます。

3つめは「介護職としてなにができるのか」考えることです。今回介護の現場を見てたくさん専門職の方がいるということ、介護職だけではできないことがあると気づきました。そこで日々利用者様を間近でみている介護職にはなにができるのか?と考えることが大切だと感じました。

技術を磨くことで危険を防ぎ、体の健康を守ることができます。しかし、知識を得て、気づくということを意識することで利用者様が落ち着いて過ごすことができるといった心の健康を守ることができるのではないのかと感じました。この学びを今後を活かし福祉、介護の専門職として力をつけていきたいと思っています。

介護福祉学科 進士 はな

今回「特別養護老人ホーム」に3日間、「訪問介護事業所」に2日間、計5日間という短い期間でしたが、学びある実習に行かせていただきました。対象利用者様の身体状況や環境の違いで、同じ「介護」を展開するにしても全く対応が違い、見学が中心でしたが私にとって大きな経験となりました。

特に重要だと痛感したことはコミュニケーションです。職員の方々の洗練されたコミュニケーションは、毎日の積み重ねから得られる、重要なスキルだと実感しました。私は緊張から上手く言葉が出ず、考えながら話をしていると敬語でなくなってしまうことがあったため、改めて言葉遣いに気を付けなければならないと思いました。また、職員の方が声をかけてくれるまでどうして良いか分からず、指示が出るまで無言で待っているだけの時間もあり、今となっては反省点として残っています。

次回の第2期実習では、どんな時でも正しい敬語や言葉遣いを心がけ、自分から積極的に声かけを行い、情報の共有から展開に繋げられる実習となるよう努力していきたいです。

令和5年度 夏のスペシャルオープンキャンパスが開催されました!!

第1弾! 在校生に聞こう! 学校生活紹介~授業・実習について 令和5年7月22日(土) 実施

子ども心理学科2年 山竹 了照
今回は夏の「スペシャルオープンキャンパス」ということで来場者も多く、高校生と一緒に楽しめる企画を考えました。また、卒業生が来て下さり実際の現場での活動や大変だったこと、やりがいなど多くの話を聞くことができました。高校生も真剣に話を聞いている印象で、今の保育現場を知ることができたのではないかと思います。私自身も卒業生の方に質問することができ、実習では聞きづらいことなども聞くことができました。

製作活動では、高校生がどうやったら楽しめるのかを考えたとき、私自身が楽しむことで全体の雰囲気が良くなり、交流を深めることができました。違う学校同士で関わり合い楽しんでいる姿が見られたので良かったです。今回の活動を通して高校生の方も私も良い経験ができ楽しむことができました。

第2弾! 卒業生が語る業界、仕事の魅力! 学校生活も振り返る! 令和5年8月5日(土) 実施

「私自身のキャリア・イメージが広がった」

ITゲーム&ロボットシステム学科2年 江平 和乃子
今回スペシャルオープンキャンパスに参加させていただき、IT分野に興味をもつ参加者の方々と一緒に、20年近く活躍されているプロの方からIoTの事例、自動車関連の組込みシステム開発のお話を聞くことができました。

昨年度も業界の方のお話を伺いましたが、就職活動をする前だったので、仕事のイメージもはっきりしていませんでした。就職活動を終えた今、お話を自分自身に置き換えながら、聞くことができ、私自身の今後のキャリアについてのイメージを膨らませることができました。

グループワークでは、参加者のみなさんに本学の魅力や学びの楽しさ、私たちの学習活動の成果を存分に伝えられました。スペシャルオープンキャンパスを通して、半年後に社会人になる上で、自分の責任と自覚を改めて認識しました。残りの学生生活を一層有意義なものにしていくためにも、今回得られたことを日々意識して行動していきます。



第3弾! 企業人から業界でのキャリアアップ、最新情報をGet! 令和5年8月26日(土) 実施

音響&映像メディアクリエイイト学科1年 森田 輝平
今回のオープンキャンパスは今までとは違い、ライブハウス「ROXY」にて体験授業を行いました。

普段の授業環境とは異なり、実際に演奏する場所で学ぶことができたので有意義な時間を過ごすことができました。私自身が目指している職種についてより明確なイメージをもって体験することができ、現場で働いているスタッフの心境ややりがいなど身をもって体感することができました。

進学を考えている学生、社会人の方々にも実体験を通して具体的に自分が目指している職種へのイメージが固まったのではないかと思います。

今後の課題として、前期は学校で座学等を中心に基礎を学んできましたが、後期からはその基礎に基づいた実践をより多く試す場所を自ら見つけ、現場にて本学で学んでいる基礎技術を実践的に生かす方法を習得していきたいなと思います。



10月の行事

- 1日(日) 入学願書受付開始
- 2日(月) 2CP保育実習I(施設) ~10/20(金)
- 5日(木) オープンキャンパス 17:00~
- 6日(金) AO入学選考エントリー締め切り
- 9日(月) スポーツの日
- 14日(土) オープンキャンパス 13:15~
- 16日(月) 2TW・CW第4期実習 ~11/11(土)
- 1ORT臨時実習 ~10/21(土)
- 17日(火) キッズハウスひかり
「引き渡し訓練・交通安全教室」
- 21日(土) 第1回入学選考
AO入学選考面接最終日
- 23日(月) 2ORT臨地実習 ~10/28(土)
- 26日(木) J検・B検CBT 16:30~
- 27日(金) AO入学選考出願締め切り

企画広報室より

令和6年度学生募集 入学願書受付開始!

企画広報室 小林 昌人

皆さん、こんにちは!今年度も半分が終わりました。前半を振り返ってみて、いかがだったでしょうか?就職活動や資格取得など、年度初めに掲げた目標達成に近づくことができているのでしょうか。今年はこちら数年に比べて外部での活動もしやすくなっています。学内外問わず、さまざまなことにチャレンジして、悔いのない学生生活を送りましょう!

さて、10月からは、いよいよ令和6年度学生募集入学選考が始まります。今年度も『AO入学選考』『指定校推薦選考』『特待生選考』『一般選考』『自己推薦選考』『社会人入学選考』『留学生選考』と多彩な選考方法で実施します。皆さんもそうだったと思いますが、この時期は特に、高校生は緊張して来校します。高校生がオープンキャンパス等で来校した際には、ぜひ明るく優しく声をかけてあげてください。

また、オープンキャンパスや説明会についても引き続き開催します。皆さんの周りの後輩や家族、兄弟姉妹等、電子情報や福祉医療への道を志す方がいれば、ぜひ本学のオープンキャンパスへの参加をお勧めください。特に最近『社会人の学び直し』での入学も増えています。一度就職して社会に出たけれど、新しい道にチャレンジしたい!という方を本学では全力で応援します。

皆さんの明るい笑顔、元気なあいさつが、何よりも中村学園を象徴する魅力の1つです。学校生活だけでなく、これから就職活動、そして就職後にもぜひ継続し、中村学園を学内外にアピールしてください!

第1回入学選考日程

- 入学選考日: 令和5年10月21日(土)
- 指定校推薦選考、特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考
- 出願受付期間: 10月1日(日)~10月20日(金) 15時必着
- AO入学選考エントリー: 10月6日(金) 15時まで

オープンキャンパス

- 10/5(木) ○10/14(土)
- 平日: 両校17:00~ 土曜: 両校13:15~
- ※第2回目以降の入学選考の日程・オープンキャンパスの詳細はHP・募集要項をご覧ください。